

今週（8月1日から8月5日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、先週からの地合いを引き継ぎ、高めのレート水準が続く、しっかりとした展開となった。無担保コールO/N物は、邦銀を中心に▲0.01～▲0.008%近辺での出会いとなった。オファーサイド、ビッドサイドともに大きな変化が見られないなか、引き続きビッドサイドの資金調達意欲が旺盛であり、月曜から木曜までの加重平均レートは、▲0.01～▲0.009%の非常に狭いレンジでの推移となった。金曜日は、3日積みとなる事で一部取り上がる先が見られたものの、出会い水準は概ね横這い圏となった。

ターム物に関しては、主にショートタームでの引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、540兆円程度からスタートしたが、税揚げ日となった水曜日以降は530兆円台前半での推移となった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.014%～▲0.08%程度水準で推移した。

SC個別銘柄では、2Y430～437回、5Y145～153回、10Y355～367回、20Y170～181回、30Y65～75回、40Y10～15回など、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、閑散とした状況が続くなか、1Y物が軟調に推移する展開となった。また、5日に実施された3M物の入札では、やや弱めの結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

短国買入オペは、2日に前回と同額の1,000億円でオファーされ、平均落札利回り較差、全取り利回り較差ともに+0.016%と弱めの結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、月初で案件が少なく閑散とした1週間となったものの、電気機器、鉄鋼等の業態からまとまった発行が実施された事で、週間の償還総額1,700億円に対して、発行総額5,800億円と発行超のマーケットとなった。

市場残高は、先週に引き続き28兆円台を超える高水準で推移し、発行レートについては0%から若干のプラスでの出会いとなった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/1 (月)	27,993.35	0.180	132.50	△ 0.010	△ 0.111	5,402,100
8/2 (火)	27,594.73	0.170	130.85	△ 0.009	△ 0.127	5,386,200
8/3 (水)	27,741.90	0.185	133.75	△ 0.009	△ 0.099	5,308,400
8/4 (木)	27,932.20	0.170	133.62	△ 0.009	△ 0.100	5,321,100
8/5 (金)	28,175.87	0.160	133.01	△ 0.009	△ 0.092	5,321,200

来週（8月8日から8月12日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/8 (月)	6月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 7月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)				
8/9 (火)	7月のマネーストック(日銀 8:50) 6月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	TB6M 40,000億円 8/10発行	30Y 9,000億円 8/10発行	エネルギー 対策借入 6,700億円 8/22借入	
8/10 (水)	7月の企業物価指数(日銀 8:50)				7月の米消費者物価指数 6月の米卸売売上高 7月の米財政収支
8/11 (木)	山の日				7月の米生産者物価指数
8/12 (金)		TB3M 56,000億円 8/15発行			8月のミシガン大消費者信頼感指数速報 4-6月期の英GDP速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/8 (月)	100	3,800	3,900	CP買入 国債補充	▲ 200 11,300		11,100	15,000	TB3M発行▲56000償還59000
8/9 (火)	▲ 500	▲ 1,000	▲ 1,500				0	▲ 1,500	
8/10 (水)	▲ 1,000	▲ 22,000	▲ 23,000				0	▲ 23,000	TB6M発行▲40000償還26900 30Y発行▲9000 交付税借入▲12000期日11000
8/11 (木)	山の日								
8/12 (金)	▲ 500	▲ 7,000	▲ 7,500				0	▲ 7,500	
週間合計	▲ 1,900	▲ 26,200	▲ 28,100	—	11,100	0	11,100	▲ 17,000	

8/8は日銀予想、8/9以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続きしっかりと地合いが予想されるものの、最終日を控え、調達量を調整する事も考えられ、その場合はレートが低下する可能性もある事から、ビッドサイドの動向が注目される。レポ市場は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、引き続きレート水準は横ばい圏で推移すると見られる。短国市場は、9日に6M物、12日に3M物の入札実施が予定されている。また、短国買入オペについては、日程を考慮すると見送られる可能性が高い。CP市場は、9日にCP等買入オペが予定されている。今回は、按分落札レートが2年3か月ぶりに0%以上での決着となった事から、レート動向が注目される。

主要なイベントは、国内では8日に6月の国際収支、海外では10日に7月の米消費者物価指数、12日に4-6月期の英GDP速報値などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまよう願ひ申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。